

地域MC協議会	構成消防本部	構成市町	1. 地域包括ケアシステムやACPに関する議論の場に、消防機関が参画していますか。	2. 地域MC協議会に、地域包括ケアシステム関係者が参画していますか。	3. 消防機関や地域包括ケアシステム関係者などが参画する多職種連携会議で、高齢者の救急搬送に係る課題の協議・情報共有を行っていますか。	4. 多職種連携会議を開催するにあたり、地域で課題があればご記入ください。	5. 関係機関が連携し情報共有を図るための取組や、高齢者の救急搬送に係る課題への取組状況をご記入ください。	6. その他、高齢者の救急搬送に係る課題についてご意見等がございましたら、以下にご記入ください。(自由記述)	
桑員	桑名市	桑名市	①参画している	①参画している	①行っている	多職種連携会議をWEBで行っており、今後は実技研修を行いたい。	今年度は、WEB研修により消防本部員と救急救命士が参加して、救急の現状を説明した。グループワークでは、それぞれの職種間での課題を話し合い、目標へ向けた第一歩を踏み出したと考える。	高齢者の救急出動が増加する中で、今後はACPやDNAR問題など県全体で取り組んで欲しい。	
		木曾岬町	①参画している	①参画している					
		いなべ市	①参画している	④その他					地域包括ケアシステム関係者ではないが、健康推進課長が委員となっている。
		東員町	①参画している	①参画している					
四日市	四日市市	四日市市	③未定	③未定	①行っている	施設からの救急搬送の場合、何を診療、治療してほしいのかが分からず、何に困って救急要請したか分からない事案がある。	四日市地域救急医療対策協議会、地域MC協議会で高齢者の救急搬送に係る課題等を話し合う場が設けられている。	高齢者搬送における諸課題(※)を改善するため、情報提供方法等を会議の場で説明し、消防機関及び医療機関が必要としている内容を共有する必要がある。また、医療機関受診後の帰宅について対応に苦慮することがある。 (※)・独居高齢者に対する関係者への連絡手段 ・同乗者の確保ができない場合がある ・情報収集が困難な場合がある	
		菟野町	③未定	③未定					
		朝日町	③未定	③未定					
		川越町	③未定	③未定					
鈴鹿・亀山	鈴鹿市	鈴鹿市	①参画している	④その他	①行っている	特になし。	関係施設等や支援事業者が開催する勉強会等に参加し、高齢者等に係る救急搬送についてお互いの問題点等を提議し議論するような場をいただいでおり、段階を経て、相互に理解を得ている。救急搬送は少しずつではあるがスムーズになっている。今後も積極的に勉強会等に参加し連携を強めるとともに高齢者に係る救急搬送について課題が出た際に情報共有し問題解決に向けて取り組んでいく。	いまだ、DNARにかかる救急搬送に苦慮することがある。ACPの進展と消防サイドの活動指針を示すのが重要な課題だと思われる。	
	亀山市	亀山市	④その他	市役所等で地域包括ケアシステムやACPに関する会議等があれば消防にも案内をして下さいと依頼をしている。					③未定
津・久居	津市	津市	③未定	③未定	③未定	特になし	特になし	一人暮らしの高齢者の救急事案は、医療機関が必要と思われる情報を得られないことがある。	
伊賀	伊賀市	伊賀市	①参画している	事務局として参画している。	③未定	①行っている	・高齢者救急搬送の増加。 ・救急搬送に必要な情報の不足(独居老人等の情報不足による現場滞在時間の延伸等) ・ACP、DNARの共通認識。 ・施設、主治医、医療機関、救急隊員との連携体制	・救急現場での情報収集ツールである救急医療情報キットの普及啓発や記載内容の更新。 ・市広報誌やケーブルTVなどを通して、救急車の適正利用や予防救急についての啓蒙。 ・高齢者福祉施設等における救急要請ガイドブックの運用に向けた検討。	高齢者の救急搬送に係る課題については、それぞれの地域も同様な課題を抱えており、特にDNARについては、地域での課題解決は困難と考えますので、先進地の取り組みなどを参考に、地域の枠を超え県全体で協議、検討する必要があります。
	名張市	名張市	②参画する予定である	参画を希望している。	③未定				

松阪	松阪広域	松阪市	①参画している		①参画している	①行っている	令和3年9月16日に高齢者施設、医師会、消防機関が参加の「高齢者施設における救急対応マニュアル作成のためのガイドライン」活用のための勉強会が松阪市地域包括ケア推進会議運営幹事会主催で開催され、高齢者福祉施設への救急出動事案に関連する課題について情報共有を行いました。		松阪地域高齢者施設における救急対応マニュアル作成のためのガイドライン策定に当たり情報提供を行った。高齢者施設における救急医療情報提供シートを救急現場で活用している事案がわずかながらある。	DNAR関連の救急対応について、国からの明確な指針は示されておらず地域の実情に応じて各地域で方針を決めていくことが求められているものと認識しています。地域でのルール作りを進めていく必要性を感じておりますので、県からの助言を得ながら進めていければと考えております。
		多気町	①参画している		③未定					
		明和町	①参画している		③未定					
	紀勢広域	大台町	①参画している		③未定					
		大紀町	③未定		③未定					
		南伊勢町(旧南島町区域)	③未定		③未定					
三地域	伊勢市	伊勢市	③未定		③未定	③未定	令和3年5月18日付け三救医第10号により関係機関の連携について依頼されましたが、添付資料3の在宅医療・介護連携推進事業と在宅医療・救急連携における連携窓口共有リスト記載の事務局等に連絡したが、相手方への連携依頼の周知が不十分であるように思われた。		<p>① 平成23年10月から救急搬送時に救急医療情報キットを活用している。</p> <p>② 施設から要請があった場合は、救急隊が施設職員に任意で看護・介護サマリーの提示を求め、救急搬送に活用している。</p>	
		玉城町	③未定		③未定					
		度会町	③未定		③未定					
	志摩市	南伊勢町(旧南勢町区域)	③未定		③未定					
		志摩市	③未定		③未定					
	鳥羽市	鳥羽市	②参画する予定である		③未定					
	東紀州尾鷲地区	三重紀北	尾鷲市	③未定						
紀北町			③未定		③未定					
紀南	熊野市	熊野市	③未定		③未定	②行う予定である			令和4年1月13日に紀南地域在宅医療介護連携推進会議において、高齢者の救急搬送についての意見交換を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により、延期となる。	
		御浜町	③未定		③未定					
		紀宝町	③未定		③未定					

各地域での取組状況調査(令和4年3月末見込み)【各市町地域包括ケア担当課】

地域MC協議会	構成消防本部	構成市町	1. 地域包括ケアシステムやACPに関する議論の場、消防機関が参画していますか。	2. 地域MC協議会に、地域包括ケアシステム関係者が参画していますか。	3. 消防機関や地域包括ケアシステム関係者などが参画する多職種連携会議で、高齢者の救急搬送に係る課題の協議・情報共有を行っていますか。	4. 多職種連携会議を開催するにあたり、地域で課題があればご記入ください。	5. 関係機関が連携し情報共有を図るための取組や、高齢者の救急搬送に係る課題への取組状況をご記入ください。	6. その他、高齢者の救急搬送に係る課題についてご意見等がございましたら、以下にご記入ください。(自由記述)		
委員	桑名市	桑名市	①参画している		①参画している		新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインで研修会を開催しているが、より活発な意見交換と連携を進めるためには、集合形式での研修会が望ましいと考えている。	介護事業所等からの救急搬送時に救急隊および救急医療機関へ必要な情報がスムーズに伝わるよう「緊急時の情報連絡票」と「利用の手引き」を作成し普及啓発に取り組んでいる。今年度は、消防本部と多職種の合同研修会を開催し、救急搬送時の情報連携について意見交換を行った。	看取りの方であっても、急変時に救急車を呼ぶことがあり、ACPやDNARIについても議論を重ねていく必要がある。	
		木曾岬町	①参画している		①参画している			消防本部との合同研修会を開催。「緊急時情報連絡票」の活用状況と課題について意見交換を開催。救急キットの普及啓発。桑名市と合同。		
		いなべ市	①参画している		④その他	地域包括ケアシステム関係者ではないが、健康推進課長が委員となっている。	①行っている		地域の現状と課題について情報共有を行うため「いなべ地域の救急の現状と課題」をテーマに消防本部の方を講師に研修会を開催した。今年度初めての開催であったが、今後の課題解決に向けて取組を検討していく段階。	介護施設からの救急搬送時の情報連携について
		東員町	①参画している		①参画している		①行っている		今年度地域の現状と課題を把握するため「いなべ地域の救急の現状と課題」をテーマに消防本部の方を講師に研修会を開催した。今後は課題解決に向けての取組を検討していく段階。	介護施設からの救急搬送場合情報連携など
四日市	四日市市	四日市市	③未定		③未定	①行っている	地域毎の地域ケア会議においては、消防機関の参画はないが、地域課題として協議されることはある。	地域ケア会議など、現行の多職種連携会議の参加メンバーに消防機関が想定されていない。また、施設からの救急搬送の場合、何を診療、治療してほしいのかが分からず、何に困って救急を要請したか分からない事案がある。	地域関係者(民生委員・自治会長など)や包括支援センター、在宅介護支援センター、市社会福祉協議会、市の連携により、見守りが必要な単身高齢者等の緊急連絡先等の情報共有をモデル的に進めている地域がある。また、そうした救急搬送時の個人情報の共有(救急医療情報キットの活用など)に関する地区毎の取組状況について、消防機関と個別に情報交換の機会を設けている。さらに、四日市地域救急医療対策協議会、地域MC協議会でも高齢者の救急搬送に係る課題等を話し合う場が設けられている。	緊急連絡先や担当ケアマネジャー、服薬などの個人情報の共有に関する取組状況が地域によって異なる。また、情報更新の頻度が課題である。高齢者搬送における諸課題(※)を改善するため、情報提供方法を会議の場で説明し、消防機関及び医療機関が必要としている内容を共有する必要がある。また、医療機関受診後の帰宅について対応に苦慮することがある。(※)・独居高齢者に対する関係者への連絡手段 ・同乗者の確保ができない場合がある ・情報収集が困難な場合がある
		菟野町	③未定		③未定	①行っている		施設からの救急搬送の場合、何を診療、治療してほしいのかが分からず、何に困って救急を要請したか分からない事案がある。	四日市地域救急医療対策協議会で、高齢者に伴う救急搬送課題について話し合う場が設けられている。	同乗者の確保が出来ず、情報収集が困難な場合がある。
	四日市市	朝日町	③未定		③未定	③未定			申請のあった独居高齢者等に対し町から配布している救急医療キットの記入内容について、救急隊より必要とする情報が含まれていないなど意見があったことから、三師会・行政・地域包括で実施している地域ケア会議において、現在記入すべき内容の修正について検討を行っている。	
		川越町	③未定		③未定	①行っている		緊急搬送医療機関や単独の消防機関はないため、広域的な連携や取組、協議の場が必要である。	地域ケア会議の中で関係機関や診療所等情報共有を図っている。また、地域包括ケア研修会においてACPに関する研修会を計画(コロナで中止)、緊急搬送医療機関や単独の消防機関はないため、広域的な連携や取組、協議の場が必要である。	
鈴鹿・亀山	鈴鹿市	鈴鹿市	①参画している		③未定	①行っている		特になし。	介護保険施設、救急隊、医療機関の円滑な連携が図れるように、「高齢者福祉施設等における救急ハンドブック」を作成した。介護保険施設からの救急搬送時にトラブルが起こった場合、行政、消防、医師会、すずらんによる「救急・在宅・介護連携調整会議」で情報共有し今後の方針を決めている。	作成した「ハンドブック」について、取り決め等が守られていない場合や、理解が進んでいないと判断できる場合は説明会の開催が必要。また、救急搬送を要請するか、かかりつけ医を呼ぶか等、生前意思を確認する取組としてACPの周知・啓発を推進する必要がある。
		亀山市	④その他	必要時は参加要請する予定	③未定	③未定			・希望者には救急医療情報キットを配布(長寿健康課)し、活用しているが、配布後のキットの情報の更新について課題である。 ・高齢者施設における救急搬送について、協議を進めていく予定。	
津・久居	津市	津市	③未定		③未定	②行う予定である		救急搬送時に、介護支援専門員が同乗を依頼される場合があるため、搬送時に必要な情報を提供する「救急医療情報用紙」についての検討を在宅医療・介護連携拠点の会議(連携体制部会)にて予定している。	「救急医療情報用紙」の素案が完成しており、連携体制部会の「津のわの会議(地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等構成)」に提案し、活用方法の検討を行った。今後はその意見をふまえ、連携体制部会での検討を予定している。	
伊賀	伊賀市	伊賀市	①参画している		③未定	①行っている	今年度から検討を始めたが、新型コロナの影響により協議が進んでいない		お薬手帳を多職種間の連絡ツールとして活用している。お薬手帳へのアドバイス記入やお薬手帳カバーに患者情報カードを挟み込む取組を実施。	
		名張市	名張市	②参画する予定である	打診の予定	③未定	③未定	消防と福祉の問題だけではなく、病院の体制も様々か。病院は広域にわたるため1市だけでは検討しにくい。会議という形で開催が効果的なのか、福祉における個別ケース会議や地域ケア会議において消防も参画いただくよう依頼する方がよいのか、在宅医療福祉連携事業における既存会議等との融合も必要だが検討できていないため、検討する予定。	・単身高齢者、高齢世帯のみに関しては緊急連絡先を実態調査や見守り訪問等で把握に努め、救急キットの活用をしている。地域包括支援センターランチ【まちの保健室】において拒否や留守の者の予防的訪問をするが、緊急連絡先のない方に関しても必要性を感じている。元気なうちにサロン等通いの場において近隣と顔見知りの関係やまちの保健室への相談が予防的にできるようにポピュレーションアプローチに努めている。 ・市が搬送前後の状況を把握した場合は搬送病院に基本情報や家族連絡先を速やかに情報提供する工夫をする。 ・成年後見制度利用の準備として、戸籍の照会が速やかに行えるように努めている。 ・入退院や入所等の手続きの支援として必要に応じ行政書士会等のサービスを紹介し、導入の支援を行っている。	市は左記調査や相談から、救急搬送時に身寄りや意思表示について支援が必要になりそうな人には予防的に見守り支援に入ることに努めているが、すべての把握は物理的に困難。個人情報等を自ら言いたくないという人も多い。地域の民生委員は単身高齢世帯に関しては全周知に近い程把握しているが、救急車に同乗するように言われることに対して民生委員はできないしすべきではないという意見も市にある。消防から福祉に情報紹介依頼は電話等で必要時随時あるが、福祉から消防に搬送時の情報について紹介を依頼しても不可であった事案もあり、個別事案であるが予防的な情報共有はできなかった。ケースバイケースと緊急性にもよるが、個々の事案としてのみ処理せず福祉と消防の地域の課題としての検討機会は必須に感じている。

松阪	松阪広域	松阪市	①参画している		①参画している		①行っている		地域包括ケア推進会議において、高齢者施設からの救急搬送に関する議題を取り上げ、各部門(医療機関、消防、介護事業所)から情報提供していただくなど、それぞれの状況を把握し、理解、連携に繋がるよう努め、令和3年5月に「高齢者施設からの救急搬送マニュアル作成のためのガイドライン」を作成、配布した。また、介護事業所の協議会と共催で、高齢者施設からの救急搬送に関する研修会を開催している。高齢者施設は、職員基準や規模が様々で、介護施設職員、消防隊員等全ての関係者に周知が進んでいない事が現状の課題としてあり、取り組みがまとまればかりである。	高齢者施設だけでなく自宅からの搬送においても、患者の病状、既往歴、服薬状況等を把握するために平成30年10月「救急情報キット」、令和2年9月「エンディングノート」を作成、配布しているが、活用について、記載情報の更新などが課題として考えられる。	
		多気町	①参画している		③未定		①行っている		松阪地域在宅医療・介護連携拠点が中心となり取り組んでいる。		
		明和町	①参画している	広域(連携拠点)で実施	③未定		①行っている	広域(連携拠点)で実施	次年度から消防にも参画してもらうよう声掛けを行っていく。	救急医療情報キットの配布事業を実施し年1回消防署と情報交換を行っている。	
	紀勢広域	大台町	①参画している		③未定		①行っている			救急情報キットを所定の位置に保管しており、救急搬送時に活用している。	
		大紀町	③未定		③未定		②行う予定である		独居や身寄りのない高齢者の場合、救急搬送時に本人の基本情報の把握が難しい。	・地域包括支援センター職員が民生委員定例会に出席し顔の見える関係づくりをすすめている ・1人暮らし等の緊急通報装置の設置	
		南伊勢町(旧南島町区域)	③未定		③未定		③未定			救急キットの配布を民生児童委員等の協力を得て配布し、設置についても民生児童委員やケアマネジャー等の協力を得ておりますが、中には適切な使用を行っていないケースもあり、さらに関係機関と連携していく必要があると考えています。	救急車を要請した際に、家族親戚がみえない場合、行政職員等へ救急車への同乗を求められるが、その対応が難しいケースもあり、同乗なしでも搬送をお願いしたい。
三地域	伊勢市	伊勢市	③未定		③未定		②行う予定である			救急との連携について、今後関係機関で調整検討を行う予定。	今後、検討予定。
		玉城町	③未定		③未定		②行う予定である		地域包括支援センターと町内消防署とは個々のケースについて情報共有したり、対応したりして連携が取れているが、町の組織としては、連携体制について整備されていない。	救急搬送するケースが迷うときがあるため、その時に相談できる先が欲しい。 独居高齢者の場合などは、救急搬送時に地域包括支援センター職員が救急車へ乗車していただくことがあるが、初めて対応するケースでは基本情報がわからず困ることがある。他の市町はどのように対応しているのか教えていただきたい。	
		度会町	④その他	R4から参加予定	③未定		④その他	R4から実施予定		救急搬送に係る課題等検討した事がないため来年度予定。	
	志摩市	南伊勢町(旧南勢町区域)	③未定		③未定		③未定			救急キットの配布を民生児童委員等の協力を得て配布し、設置についても民生児童委員やケアマネジャー等の協力を得ておりますが、中には適切な使用を行っていないケースもあり、さらに関係機関と連携していく必要があると考えています。	救急車を要請した際に、家族親戚がみえない場合、行政職員等へ救急車への同乗を求められるが、その対応が難しいケースもあり、同乗なしでも搬送をお願いしたい。
		志摩市	③未定		③未定		③未定			地域包括ケア推進協議会で関係機関と情報共有を図っているが、高齢者の救急搬送を議題としては取り組んでいない	
	鳥羽市	鳥羽市	②参画する予定である	在宅医療・介護連携部会等に参画を予定していたが令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました	③未定		③未定		高齢者の救急搬送への課題の捉え方が多職種間で共有されていないため、既存の多職種連携会議の議題として検討しにくい。	消防と現在の課題について共通認識を持つため話し合い、既存の多職種連携会で検討できるかを代表者会議で図った。	一人暮らしが増加しており、緊急連絡先やかかりつけ医が分からず困ることが増えてきている。
東紀州尾鷲地区	三重紀北	尾鷲市	③未定		③未定		①行っている		専門職が多忙で会議に参画できないことが多い。	紀北医師会と消防において、本人の意思を踏まえた緊急時の対応(心肺蘇生)についての覚書を締結	
		紀北町	③未定		③未定		③未定			福祉保健部局が高齢者の救急搬送にかかる課題を把握できていない	今後課題の共有や、課題解決に向けた方策をともに消防部局とも共有していけたら幸いです。
紀南	熊野市	熊野市	③未定	課題共有のための意見交換の実施を予定していたがコロナの感染状況により延期となった。定期的に会議に出席いただいている訳ではない。	③未定		④その他	1月に計画していたが、コロナの感染拡大のため延期となった。		75歳以上の独居高齢者には救急対策キットを配布し、医療の情報などを確認できるようにしている。	・夕方以降に救急搬送され入院とならなかった場合の帰りの車について。 ・身寄りがいない場合の病院への付き添いについて。
		御浜町	③未定	課題共有のための意見交換の実施を予定していたがコロナの感染状況により延期となった。定期的に会議に出席いただいている訳ではない。	③未定		④その他	1月に計画していたが、コロナの感染拡大のため延期となった。		65歳以上の独居高齢者や身体に不安を抱える高齢者世帯に救急情報キットを配布し、医療の情報などを確認できるようにしている。	・一人暮らし等で支援者がいない方が搬送され、入院とならなかった場合の帰りの車について。 ・身寄りがいない場合の病院への付き添いについて。
		紀宝町	③未定		③未定		②行う予定である			在宅医療介護連携推進会議にて協議予定	